

投稿 不当解雇撤回裁判を応援するために

乗員OB

昨年12月に日本航空を解雇された165名のパイロットとキャビンアテンダントの仲間148名が東京地裁に解雇の無効を求めて現在係争中であることは皆さまもよくご存じのことかと思えます。

法廷における稲盛会長の証言からもこの解雇が再建のために経営上必要なものであったとは言い難く組合を弱体化させようとした狙いがあることが明らかになってきました。

小説「沈まぬ太陽」は日本航空がそれまで行ってきた暗い労務政策の一端を描いていましたが、職場を分断し会社の意に沿わぬ社員を排除してきたことが会社の活力を奪ってきたことは現役時代にも強く感じていました。

現在あらたな再生のために社員が一丸となって努力すべき時にこのような解雇を強行するのであればその先に見える再生JALは社員やお客様から愛される会社とは程遠いものになりまた同じ道をたどることを心配します。

裁判は予定された証人尋問も終わり年内にも判決かと言われていますが、この裁判を支援する国民支援共闘会議は東京地裁に対し公正な判決を求める要請書を集めています。

JALの真の再生を願う退職者の一人として退職者懇談会のメンバーの方々にも是非この署名を呼びかけたいと思います。小さな活動ですが何もしないことからすれば大きな一歩になると信じるからです。

(追伸)

署名用紙は以下のアドレスからダウンロードできます。

<http://www.phenix.or.jp/jkkk/torikumi/shinsyomei.pdf>

日本航空の不当解雇撤回をめざす国民支援共闘会議のホームページは以下です。

<http://www.phenix.or.jp/jkkk/index.html>